

..... 登録団体への提供サービス

■拠点の活用

- ・会議室…39.3㎡（少人数～30名程度収容可能）
- ・和室・・・約10畳（12名程度収容可能）
- ・前スペース…8人掛けのワークデスク

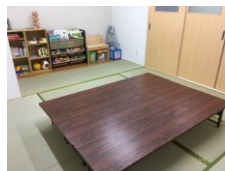
※事前予約（電話または来所）の上、ご利用ください。
（2カ月前より予約可能）



会議室

■機材の利用

- ・印刷機（白黒印刷）
マスター製版1回33円/片面印刷1枚0.5円
- ・コピー機 1枚10円
- ・紙折り機 無料



和室

■器材の無料貸し出し

プロジェクター、スクリーン、ワイヤレスアンプ、長机、パネル、イーゼル、ラミネーター、スピーカーフォン、液晶ディスプレイ、NPO関連書籍等

■ボランティア募集

ボランティア募集情報をさぼらんでHPや各SNSなどを通じ、効果的に拡散することができます。



前スペース

■発送同封サービス

偶数月（地域交流センターへは毎月）に、関係各所へチラシ等を同封することができます。チラシは発送作業日前日までにご持参ください。団体交流を兼ね発送日は可能な方は作業への参加をお願いしています。

【発送作業予定日】

6/1（木）・8/1（火）・10/2（月）・12/1（金）・2/1（木）・4/1（月）

*いずれも13:30～1時間程度です。

【必要部数】

400部(地域交流センター分 5部×21地域+さぼらんで登録団体280部+さぼらんで配架15部) *発送日までにさぼらんでへご持参ください。

■その他

- 窓口業務の代行
- 団体BOX(簡易ロッカー)の活用
- イベント開催場所としての活用
- パンフレット、チラシ、ポスターの掲示など



令和5年度 主な事業・サービス保存版



新型コロナとの共存が日常となり、市民活動ににぎわいが戻りつつあります。さぼらんででも令和4年度は「SDGs アレンジレシピコンテスト」「がんを知る日」「世界地図をつろう」「チャリティ屋台」など、さまざまなイベントを開催、また講座は全て対面式に戻すことができました。

4月からは山口市後期協働推進プランが始動します。感染症対策に気を付けつつ、プランに即した協働をしにかけていきたいと思っています。

山口市市民活動支援センターさぼらんで

【所在地】〒753-0047 山口市道場門前2-3-6 どうもんビル1F

【TEL】083-901-1166 【FAX】083-901-1165

【E mail】info@saporant.jp

【ホームページ】<https://www.saporant.jp/>

【開館時間】9:30～18:00

【休館日】水曜・年末年始(12/29～1/3)

土日以外の祝日(5/4・5/5・7/17・8/11・9/18・10/9・11/3・11/23・1/9・2/23・3/21)



(さぼらんでHP)

～令和5年度のテーマ～

個性豊かで活力のある自立した山口市に向けて

○市民意識の啓発・参画の促進

- ・市民と市民活動団体、企業、教育機関等とのマッチング
- ・HP、SNSによるボランティア情報の充実
- ・若者の社会貢献活動への参加促進のプログラムづくり

○市民活動団体・企業・行政など多様な主体の連携に向けての話し合いの場づくり

- ・テーマ型の円卓会議

○NPOの活動基盤の強化・自立支援

- ・情報発信支援
- ・助成金、クラウドファンディングを活用した資金調達に関する支援

まなぶ

■市民活動団体向け講座の開催

令和5年度は、寄付先に選ばれるためのワークショップ（A4チラシ完成まで）と、Googleフォーム活用講座を予定しています。



■社会貢献教育活動

インターンシップの受け入れの他、「ボランティア入門講座」などの出前講座を開催し、次世代のリーダーを育成します。



寄り添う

■個別相談への対応

社会課題、地域課題解決のために行動したい市民からの相談や、市民活動をする上での困りごと、組織運営、ボランティア募集などに関する相談に対応します。

■人材発掘・養成

市民の誰もが自身の適性を生かした関わり方で、市民活動や地域とともに協働できるまちづくりをすすめます。

つながる

■多様な話し合いの場づくり(さぼカフェ)

テーマに沿って市民活動団体や地域、学生、行政など、各関係者と共通の社会課題について話し合う場と機会をコーディネートします。



■企業 × NPOつながりプロジェクト「支え人。」

消費者が寄付つき商品を買うことで、売り上げの一部がNPO法人への寄付になる「支え人。」プロジェクト。今年で9年目を迎えました。



■チャリティ屋台

「山口七夕ちょうちんまつり」が行われる8月6日、7日に開催予定。大学生ボランティアが浴衣姿で彩りを添えてくれます。

収益は東日本大震災の復興支援団体へ寄付いたします。



発信する

■ええやん新聞

年2回発行している、さぼらんての機関紙。NPOや地域に関わる人・活動などを紙面で紹介し、誰かの力になりたい市民の、はじめの一歩を応援します。

山口市内の小中学校等に配布する他、地域交流センター、回覧板等でもご覧いただけます。



■多様なツールを通じたインターネットでの情報発信

公式HPのほか、Facebook、Instagram、LINE公式アカウントでの情報発信に力を入れています。

